

平成27年度大津町献穀事業



数量限定で献穀米が販売されました
 献上された残りの献穀米は、昨年度末に大津町や熊本市で正月を祝う縁起物やお土産物として販売されました。
 阿蘇の地下水の恵みを受けた大津の米は町内外から大好評でした。



新嘗祭

天皇陛下が新穀を神々に供えられた後、自らも食され、今年の収穫に感謝する祭りです。



献穀献納式

谷本さん夫妻と家入町長で献穀を皇居へ奉納しました。
 精米1升、精粟5合。

抜穂祭

黄金色に実った新穀を刈り取る神事。
 御田植祭に引き続き、大津中学校の生徒が田男、早乙女姿で稲を刈り取りをしました。



11月26日

11月23日

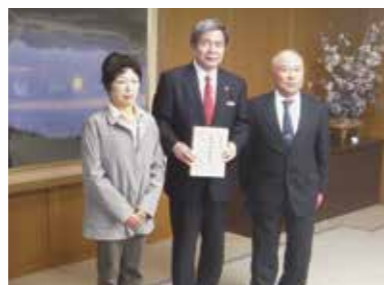
10月29日

10月15日

10月10日

県知事へ報告

谷本さん夫妻と、家入町長が無事に献穀事業が終わったことを蒲島県知事へ報告をし、献穀事業の全てを終了しました。



奉告祭

新穀の収穫に感謝して、引水管原神社へ奉告しました。



献穀事業を終えて

■献穀者

谷本保馬さん・鈴子さん

無事にできるか、最後まで不安でしたが、地域の皆さん、役場の皆さんに手伝っていただき、大津警察署の皆さんは、夜間の見回りなどをしていただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。そして、無事に熊本県の代表として、献納ができました。

大津町の米は阿蘇の湧水の恵みで育ち、とてもおいしいと評判です。

米は、日本人にとっての一番の食べ物。これからの世代につなげる食文化のためにも、たくさんのおいしい笑顔のためにも、米作りを頑張っけていきたいと思えます。

